図書館ニュース

2号

2017年5月発行

新入生が図書館見学にきました

4月半ごろ、中1と高1の校内見学がありました。図書館内も見学し、司書から本の借り方や諸注意を聞きます。

早速図書館に通って毎日本を借りている生徒もいます。みなさんどんどん図書館を利用してください。分からないことは司書に聞きましょう。

読書感想画を柱に展示中！

読んで面白かった本を、絵と短い文章で紹介します。

開智にはこんな素敵な本がある！」みんなにこの本を勧めたい！」と思っている人は、ぜひ図書館へ描きに来てください。いま展示中の作品を2つ紹介します。

▼図書館に来た生徒がよく眺めています。お絵描き上手さんはぜひ描きに来て！

本屋大賞

2017年大賞決定!!

全国書店員が選んだ いちばん！売りたい本 2017年本屋大賞

1 恩田陸『蜜蜂と遠雷』

ピアノコンクールで競う若者たちの感動物語。行間から音楽が聞こえてくるよう」と評される程、魅力的な文章。

2 森絵都『みかづき』

学校は「太陽」、塾は「月」。塾を経営する一家3代の物語です。主人公の「月」とはどんな意味があるのでしょうか。

3 塩田武士『罪の声』

実際に起こった昭和の未解決事件がモチーフ。読み終えたら表紙の絵を眺めてください。

4 原田マハ『暗幕のゲルニカ』

ピカソとピカソ研究に情熱を燃やす瑤子。二人の視点で「戦争」を見つめます。戦争とは？芸術とは？最後の2行が衝撃的。

5 村山早紀『桜風堂ものがたり』

本を愛する書店員さんたちの物語。逆境に立ち向かう主人公たちの姿に、心が温まります。

翻訳部門 1 トーン・テレヘン『ハリネズミの願い』

キミたちみんなをぼくの家に招待します。……でも、誰も来なくても大丈夫です。」人間関係に悩んでいる人皆に読んでほしい。

今月の特集コーナー

和歌山

中1、中2は6月に体験学習があります。事前に下調べするなら図書館を使いましょう。

和歌山の南高梅、備長炭、捕鯨文化、みかん、醤油、熊野信仰、稲村の火など。和歌山の魅力を紹介します。

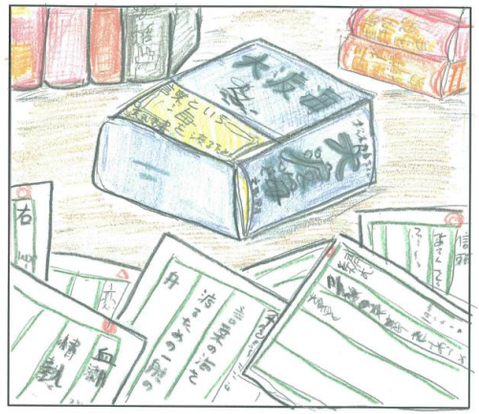
本屋大賞

「本屋大賞」は今年で14回。今年のノミネート作品はもちろん、過去の大賞作品を一挙に紹介します。

この「本屋大賞」特集は開智でも毎年圧倒的に人気です。話題の小説は見逃すな！図書館で全部借りちゃおう。

読書感想画

三浦しをん『舟を編む』

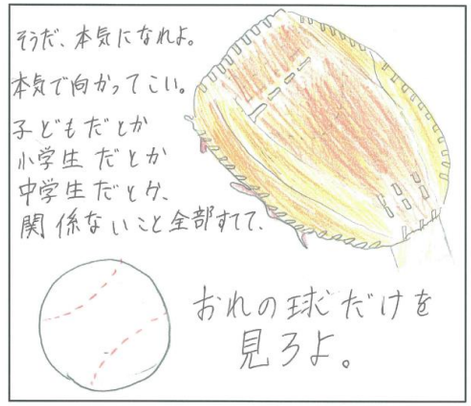


見出し語の選定や用紙選び、装丁まで辞書を“編む”一端を見ることができる小説です。この小説を読めば、辞書に愛着を持つこと間違いなしです。

（6年4組　堀内彰人）

読書感想画

あさのあつこ『バッテリー』



父の転勤により祖父の家がある新田という田舎に引っ越してきた巧。そこでキャッチャーの豪と出会い、巧の心にも変化が一。少し汗くさい青春物語です。

（2年3組　足立優羽）